- ▼ 集合型で行うセミナーと同水準の質の高いセミナーをお届けします。
- ✓ 音声やチャットでの応答を行い、ライブならではの臨場感のある講義を行います。
- ▼ テキストは電子形式 (PDF) により、事前配布いたします。
- ✓ 受講の集中力を維持するために、適度な休憩を確保します。

参加申込規定

●WEBの場合

当協会ホームページの本プログラムの ページよりお申し込みください。



※当協会のホームページは www1.logistics.or.jpまたは「JILS」で 検索してください。

●FAXの場合

下記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、FAXにて 事務局までお申し込みください。

●オンラインセミナーへのご参加にあたり

日本ロジスティクスシステム協会(以下「主催者」という)が定める「JILSオンライン研修受講にあたってご 了承いただきたいこと」(URL https://bit.ly/346E1Ag)と、以下の事項の内容をお読みいただき、内容 についてご理解、ご承諾のうえお申込みください。

以下の条件を満たしたPC等をご準備ください。

- Zoomクライアントをインストールしていること。
- マイクの使用ができること。
- Microsoft Office (Word Excel PowerPoint)が使用できること。
- 本セミナーの受講者は申込時に登録した受講者に限定し、1人1台のデバイスでご参加ください。
- 主催者に起因する事由や不測の事態により通信が中断した場合は、録画した本セミナーを期間限定で
- 受講者に起因する事由により通信が中断した場合は、主催者は責任を負わないものとします。
- 本セミナーの録画、録音、撮影は禁止します。
- 受講者により運営を妨げるおそれのある行為がある場合、対象者の受講を中止させることがあります。

申込規定

●参加料

日本ロジスティクスシステム協会会員

38.500円(税込/1名)

55,000円(税込/1名)

●参加定員

25名(最小催行人数:5名) ※定員になり次第締め切らせていただきます

●参加料支払い方法

- WEB請求書で請求いたします。
- WEB請求書は原則として参加者のE-mail宛に送付いた します。
- WEB請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みくだ
- お支払いは、原則として開催前日までにお願いいたします。
- 振込手数料はお客様にてご負担願います。

●キャンセル規定

- 開催7日前~前々日(開催日初日を含まず起算) 参加料(消費税を除く)の30%
- 開催前日および当日 参加料(原則として消費税を除く)の全額

●個人情報の取り扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人 情報の保護に努めております。詳細は当協会のプライバ シーポリシー(https://www1.logistics.or.jp/privacy.html) をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人 情報は、本催し物に関する確認・連絡・受講者名簿の作成 および当協会主催の関連催し物のご案内をお送りする際 に利用させていただきます。

●参加申込先/内容の問い合せ先

公益社団法人

日本ロジスティクスシステム協会

東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディアム3F 業務管理部 セミナー担当宛

E-mail shien@logistics.or.jp

※参加申込をキャンセルする場合は事前に問い合わせ先 にお申し出ください。

参加申込書

03-3436-3190

『超』入門! 戦略的サプライチェーン設計セミナー 開催日/3月8日は、3月15日は、3月22日は計3回

フリガナ 会社名・事業所名			□ 協会会員	参加料のお支払い 支払予定日:	か開催後になる場合 月	は明記ください。 日 予定
参	フリガナ 氏名	所属·役職名				
加	所在地 〒 — 都道 府県			TEL. ()	_
者	E-mail			(,	
協会	÷への連絡事項 		受付日	請求日	請求書NO	

BA2272

□ Liveオンライン開催 (Zoom使用)





戦略的サプライチェーン

戦略的なサプライチェーンの「設計」と「評価」の基礎を学ぶ

3/8 · 3/15 · 3/22 · 3/22

- ●企業における戦略部門・企画部門の担当者が、サプライチェーンを設計するために必要となる 標準的な記述手法と、サプライチェーンを「財務効率」「有効性」「持続可能性」の観点から 評価する手法を習得することを目指します。
- ●各講義による「学び | とグループワークによる「気づき | の組み合わせにより学習を進めます。
- ◆SCMについての本格的な学びの第一歩として、積極的なご参加をお待ちしております。

サプライチェーンは、多様な需要に応えることを目的として、複数の企業や人々が相互に関連しながら 価値を形成・提供する、一種の「エコシステム」といえます。その一方で、これらの企業や人々がすべ ての情報を共有することはまれであり、サプライチェーンを構成する個々の企業は、不完全な情報を前 提としつつ適切な行動を取ることが求められます。

本セミナーは、企業の戦略部門・企画部門に勤務される方を対象としてサプライチェーンの「設計」と 「評価」の基礎を学んでいただくことを狙いとしています。全3日間のプログラムは講義と演習で構成さ れており、これらを通じてサプライチェーン設計・評価の基礎知識習得と、実務上の課題設定のため の観点習得を目指します。

サプライチェーンの「設計」においては、サプライチェーンを構成する個々の要素とそれらの相互関係を 記述するための標準的な記述手法を学びます。また、サプライチェーンの「評価」においては、「財務 効率」「有効性」「持続可能性」を認識するための標準的な手法を学びます。

〈参加対象〉

製造業・流通業などにおける 戦略部門および企画部門 担当者など

- ※事前に『超』入門! 世界標準のSCMセミナーの受講、又 は、『基礎から学べる! 世界標準のSCM教本』(日刊工業 新聞社) の読了を推奨しておりますが、初学者の方でも問 題なくご受講頂けます。
- ※推奨図書:APICSディクショナリー第16版(生産性出版)

セミナーカリキュラム〈講義/90分、演習/20分、質疑/10分〉

第1回

18:30 3/ 0 3 20:30

サプライチェーンの設計・評価「超」入門

1.1 サプライチェーンの「設計」とはどのような活動なのか

- ●サプライチェーン設計において 目指すべき姿について考える
- ●共通言語としての「世界標準のSCM」について

●標準的な「プロセス参照モデル」について

- 19 サプライチェーン設計のための手法
- ●サプライチェーン設計の手法について

第2回

サプライチェーンを「記述」するための基礎知識

2.1 標準表現によるサプライチェーン記述方式を学ぶ

- ●標準表現1:サプライチェーンを構成する「要素」について ●標準表現2:サプライチェーンにおける意思決定の 階層構造について
- 2.2 サプライチェーン参照枠組を用いた「構造解析」を学ぶ
 - サプライチェーン・ダイヤグラム記述の基本1
- サプライチェーン・ダイヤグラム記述の基本2

第3回

18:30

サプライチェーンを「評価」するための基礎知識

- 3.1 サプライチェーン参照枠組みを用いた 「性能評価」を学ぶ
 - 財務効率の評価の基本 ●レジリエンス/持続可能性の評価の基本
- 3 2 総合演習

- ●サプライチェーンの構造記述と問題発見
- ●サプライチェーンの課題設定と再設計

※諸事情により、講義内容は変更される場合があります。※講義においてグループディスカッションを行います。※オンラインでの参加方法についてはパンフレット裏面をご参照ください

講師プロフィール

行本 顕 🗈

YUKIMOTO KEN

1974年生まれ。APICS認定インストラクター(CPIM-F・CLTD-F・CSCP-F)、法学修士。銀行員を経て2003年より国内消費財メーカーに勤務。 生産管理・海外調達他を担当。2010年~2012年にかけて米国の大手消費財ディストリビューターに常駐、S&OPを担当。日本初のAPICS三科 目認定インストラクターとして日本ロジスティクスシステム協会、日本生産性本部他での講演を中心にSCM普及活動を行っている。ストラテジック SCMコース第12期修了生。JILS調査研究委員会委員。JILSサプライチェーンマネジメント推進会議座長。著書に「基礎から学べる! 世界標準 のSCM教本」(日刊工業新聞社)「全図解メーカーの仕事」(ダイヤモンド社) 他。日刊工業新聞にて「ビジネスパーソンのためのSCM講座」連載中。

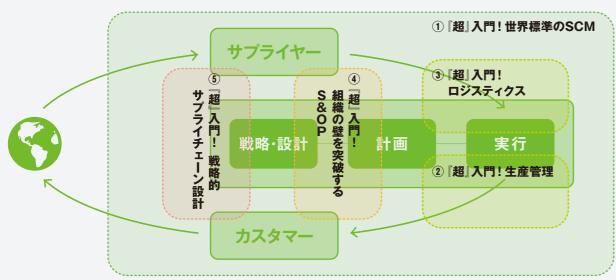
高井慎平氐

TAKAI SHIMPEI

1987年生まれ。SCOR-P, CPIM, CLTD, CSCP, MIT MicroMasters in SCM / in Principles of Manufacturing。2011年より国内医療機器 メーカーに勤務。海外子会社向け受注出荷業務、生産・販売・在庫計画業務を担当。2016年~2020年にかけて米国販売子会社に駐在。需要 分析、購買、在庫管理業務に従事。帰国後はサプライプランニング業務及びIBP (Integrated Business Planning) 導入プロジェクトに携わる。 ストラテジック SCMコース第12期修了生。JILSサプライチェーンマネジメント推進会議メンバー。

『超』入門! サプライチェーン マネジメント(SCM)シリーズ のご案内

『超』入門! SCMシリーズの全体像



「基礎から学べる!世界標準のSCM教本(日刊工業新聞社)」をもとに作成

『超』入門!SCMシリーズは5つのモジュールで構成されたサプライチェーンマネジメント(SCM)の入門セミナー群です。SCMの「設計・ 計画・実行」それぞれの業務領域に求められる「観点」と「基礎知識」の習得を目指しつつ、相互の関連性を同時に学びます。

各モジュールは講義とグループワークで構成されています。個別に受講することも可能ですが、すべてのモジュールを受講することで世界 標準のSCMの基礎をより体系的に学ぶことができるでしょう。

また、これらのモジュールはいずれも世界標準のSCMにおける世界観に準拠していますので、はじめてSCMの世界に足を踏み入れた方 も、すでに実務経験を積まれた方も、受講後は本セミナーの内容を「共通言語」としてご活用いただける点にも特徴があります。

2 『超』入門! SCMシリーズのラインナップ

世界標準のSCM

世界標準のSCMの世界観と基礎知識の全体像を俯瞰的に学習 することを狙いとしたモジュールです。シリーズの最初に受講す ることをおすすめします。

SCM担当者のための 生産管理/ロジスティクス 「実行」および「計画」領域の観点よりSCMを学びます。モジュー ルは「ロジスティクス」と「マテリアルズ・マネジメント(生産管理)」 に分かれます。

超入門! 組織の壁を突破する S&OP

「計画」「戦略」領域の観点よりSCMを学びます。ROIC*を主軸 に経営資源の配分に関する意思決定に寄与する提言のポイント を併せて学習します。

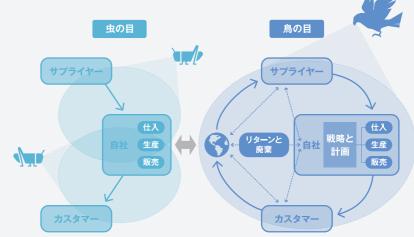
超入門! 戦略的 サプライチェーン設計

「戦略・設計」領域の観点よりSCMを学びます。唯一の正解が 存在しない世界で道筋を示すための整理軸と考慮すべき基本的 なポイントを学習します。

※Return On Invested Capitalの略称。投下資本利益率。

実務家に求められるより広い視野

日本国内においてSCMは「ものはこび=物 流 や 「ものづくり=生産 | を中心とした局 所的なアプローチとしてとらえられがちです。 これに対して世界標準のSCMは「地球規模 のエコシステム」を大前提とする俯瞰的で総 体的なアプローチと位置付けられています。 つまり、サプライチェーン上の問題状況はす べての当事者に影響するのであり、従ってこ れを克服するための課題設定もまた当事者 すべてが関わる形で行うことが強く望まれる のです。本セミナー群では、局所的なアプ ローチのための 「虫の目」 と共に、俯瞰的で 相対的なアプローチのための「鳥の目」の 両方を身につけることを目指します。



JILS 「サプライチェーンマネジメント推進に向けた提案 2022」 をもとに作成

「『超』入門!」 シリーズ	「超」入門! 「超」入門! 世界標準の SCM担当者のための SCM 生産管理		「超』入門! SCM担当者のための ロジスティクス	『超』入門! 組織の壁を突破する S&OP	「超」入門! 戦略的 サプライチェーン設計	
	BSCM®-I準拠	BSCM®-IIa準拠	BSCM®-IIb準拠	BSCM®-III準拠	BSCM®-IV準拠	
① SCMの基礎概念と世界観	0	0	0	0	0	
②「戦略・設計」の観点	0	\triangle	Δ	0	0	
③「計画」の観点	0	0	0	0	0	
④「実行·管理」の観点	\triangle	0	0	\triangle	\triangle	

BSCM® (Basics of Supply Chain Management) について http://omg.scmtokyo.com

4. SCM ACADEMY of JAPANの諸活動

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 (JILS) は、この度、協会内にSCM ACADEMY of JAPAN (SCM-AJ) を設置し、産業界 の問題発見と課題解決に寄与すべく、以下の活動を進めてまいります。

- ●企業内・外における研究の一助のための「調査研究・提言」
- ●企業間の連携や業種・業態を横断するための「連携・共創」
- ●最新の情報や技術を収集し普及するための「情報発信・普及」
 - 『超』入門! SCMシリーズなど、SCMの高度化に向けての人材育成を はじめとする「HRM (Human Resource Management; 人的資源管理)」

調査研究・提言

情報発信・普及

- ●企業トップへのインタビュー
- 大学との連携/大学生への普及 研究会 ■講演会
- 展示会/ロジスティクス・ソリューションフェア
- 国際物流総合展

サプライチェーン

- マネジメント推進会議
- ●需要予測研究会 ●国際物流強靱化推進ワーキング

連携·共創

- JILSオープンイノベーションラボ → 持続可能な加工食品物流検討会
- 荷主ミーティング

人材育成·HRM

- ●ストラテジックSCMコース

本活動の一環として、『サプライチェーンマネジメント推進に向けた課題2022』を冊子として発行することとなりました。 本冊子が自社内でSCMの推進に取り組む皆様の参考資料となるようご案内いたします。



https://www1.logistics.or.jp/news/detail.html?itemid=724&dispmid=703